埋込型バスタブ

据付工事 参考図

⚠ 資料に記載の施工方法は参考用としてください。当社が開示した施工方法についてその品質を保証するものではありません。

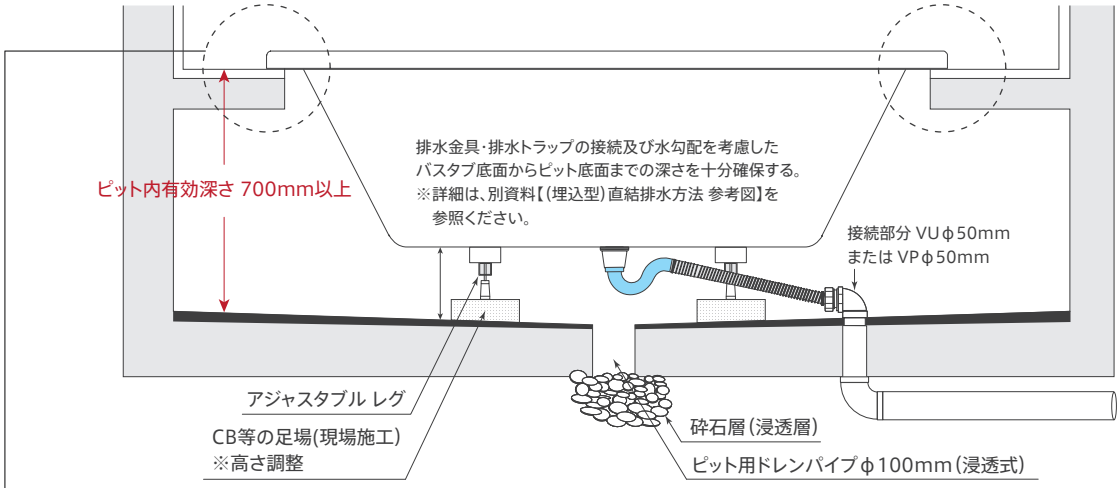
! 必ず守って頂きたい事

1. バスタブの取り外しが容易にでき、交換可能な施工とすること。
2. 排水金具をバスタブ裏面よりメンテナンス・交換が容易にできるおさまりとすること。（点検口など）

※排水金物は将来的にメンテナンスが必要な箇所です。

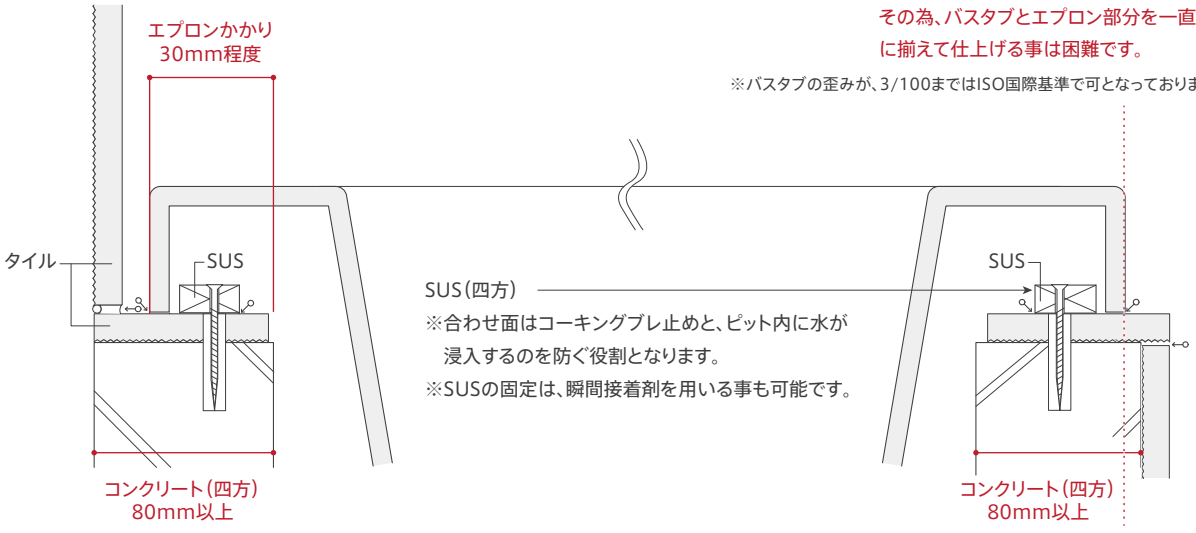
※上記が守られていない場合は、保証対象外になりますので、ご了承ください。

排水金具・排水トラップの接続及び排水の水勾配を考慮して、ピット内有効深さが700mm以上必要です。



レグ有りバスタブの場合、レグで荷重を支えることが可能な構造になっています。
コンクリートブロック等で足場を現場で施工の上、高さ調整を行ってレグに荷重がかかるように据付ください。

エプロン部 拡大図

× アクリル・イモノホーローは、熱成型の為、
材質上ひずみがあります。
その為、バスタブとエプロン部分を一直線
に揃えて仕上げる事は困難です。

※バスタブの歪みが、3/100まではISO国際基準で可となっております。